



土岐市教育研究所  
TEL 0572-54-1111 (内281)  
FAX 0572-55-6310  
メールアドレス kyoiku@city.toki.lg.jp  
No. 533  
所長 橋本勇治  
発行 平成29年 5月10日  
日字 山田恭正 教育長



『工夫と温かさ溢れる対面式』  
撮影者 土岐津中学校  
横田 美奈子 先生



## 「ピカピカ」に「磨きをかける」

土岐市教育研究所長 橋本勇治

小学校の入学式に参列させていただきました。あいにくの天気で、開式前の荒天を危惧しましたが、間一髪で最悪の事態は免れたようでした。これも先生方の日頃の行いのおかげと、ほっと胸をなでおろしました。

厳粛な雰囲気の中、新1年生が入場してきます。緊張した面持ちで最前列へと進んでいきます。たまに見かける入場のゴタゴタは、ここにはありません。引率の先生が手際よく子供たちを誘導し、遅滞なく、むしろスムーズに着席させていきます。

かつて、私が勤めた学校では、新1年生をパイプ椅子に座らせていました（翌年からすぐに変更しました）。当たり前ですが、ここではきちんと低学年用の椅子が用意されて、足のブラブラもありません。予想以上に落ち着いた雰囲気、入学式が粛々と進行されます。

確かに、「ピカピカの1年生」が入学してきたという印象です。しかし、それで終わりではありません。始まったばかりです。私たちに課せられたミッションは、入学式のその日から、意図的・計画的に教育を繰り返して、彼らの「ピカピカ」に重

厚な光沢や艶を醸し出させ、「磨きをかける」ことです。

式は後半にさしかかりました。緊張していても、キョロキョロしてしまうのが1年生。その1年生の目が1点に集まった瞬間がありました。

- ①校長式辞で「A・K・B」と演題に垂れ幕が下がったとき
- ②担任の先生方が、ワクワクするような歓迎の寸劇を披露したとき
- ③児童会代表が、校長先生が話した「A・K・B」を寸劇やフラッシュカードでわかりやすく説明したとき

1年生の「ピカピカ」に「磨きをかける」には、まず、釘付けにして、集中を生み出す工夫が必要です。そのためには、一手間を惜しまない、一ひねりのプラスが肝心なのでしょう。そして、忘れてならないのは、私たちには毎年やってくる1年生でも、子どもや保護者にとっては、これっきりの、一度きりの1年生であり入学式であるということです。それを改めて実感しながら、清々しい気持ちで式場を後にしました。

みんなであつこう

# 土岐市教育のミッション

土岐市教育長 山田 恭正

お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し地域社会に貢献する

上記のスローガンは、営業収益日本小売業 No.1 の企業「イオン」の経営理念です。

いろいろな情報誌で会社経営の状況を観ていきますと、どの企業も「経営理念」とか「経営スピリット」、「社訓」、「社是」などを企業運営の大切な柱に掲げています。

さらにその柱をもとに行動指針を明確に示し、具体的な取り組み、すなわち「経営ミッション」を打ち立てています。

さて、話を教育の場に移してみたいと思います。学校における経営理念すなわち「教育理念」は何でしょう。もちろん「学校の教育目標」のことです。ところで、勤務校の教育目標は言えますか。また、その目標を具体化していく「行動指針」や「経営ミッション」は語れますか。わかっているようでわかっていないことはないでしょうか。

4月の入学式、始業式に始まって1ヶ月が過ぎようとしています。あわただしい日々から少し視点を変えて、「学校の教育目標」や「経営構想」など、目指していることをもう一度確かめてください。改めて思うことや新しい発見や気づきがあるかもしれません。

今回のメインの内容に入ります。もう一つ、IT産業の大手企業である大塚商会のミッションステートメント（企業と従業員が共有すべき価値観や果たすべき社会的使命）の一部を紹介します。

<経営理念>

大塚商会は多くの企業に、情報・通信技術  
.....

<目 標>

- 社会から信頼され、支持される企業グループとなる。
- .....

<行動指針>

- 常にお客様の目線で考え、お互いに協力して行動します。
- 先達のチャレンジ精神を継承し、自ら考え、進んで行動します。
- 法を遵守し、社会のルールに則して行動します。

「行動指針」に着目してください。この指針は、企業や社員のあるべき姿、目指す姿や心得を示しています。実現可能であるかどうかは別として、私たち教育に携わる者も確たる「行動指針」をもつことが大切です。

そこで、土岐市教育を実現するための「行動指針」を皆さんと一緒につくっていきたいと思います。

土岐市教育振興基本計画 “夢・絆プラン”

<基本理念 めざす姿>

夢を持ち 人との絆の中で育ち合う

土岐市教育(ひたむきな社会人)

**【行動指針】→学校や教職員のあるべき姿、  
意気込み、心得等を聞かせてください!**

※別紙用紙に記入してください。

※プランのリーフレットをみながら考えてください。

※次期のプラン策定に生かします。

土岐市教育振興基本計画 “夢・絆プラン”

＜行動指針＞教育に携わる者としての「心得」「意気込み」「在り方」等々

(例) ・常に笑顔を絶やさず、さわやかに接していきます！

(例) ・誰もがわかる授業づくりをしていきます！ 語尾は「～ます」で

(1～5項目程度でお願いします)

・

-----

・

-----

・

-----

・

-----

・

-----

5月31日までに園長・校長先生へ提出してください。(提出は任意です)

幼・学校名 ( ) 氏名 ( )

# 400人で4400人の児童・生徒を

土岐市小中学校長会長 梅村 利明

## はじめに

土岐市立小中学校には、今年度301名の常勤の教職員がいます。この他にも、非常勤講師や学業支援員、更にはスクールカウンセラーやスクール相談員といった方々もみえます。校務員や給食配膳員等として勤務してみえる人も含めれば、正確な数字がわかりませんが、400名程の職員が、何らかの形で、土岐市の児童・生徒およそ4400名に関わっていることとなります。400名の力を結集することによって、大きな成果が期待できるはずです。

## チームとして

子どもたち一人一人がかけがえのない存在であるように、職員一人一人もかけがえのない存在です。教育現場に限らず、一般企業でも話題になっていますが、経験の浅い人も即戦力として期待される社会となり、多くの負担がかかってきます。わからないこと、できないことに一人で苦しんでいるなどということもあるようです。当然、豊富な経験をもった先生方でも、新しい分掌を引き受けられ、同様に悩み苦しんでみえる場合もあるでしょう。「最大の教育環境」の一つの条件は、職員が明るく元気で子どもたちの前に立つことだと考えています。そのためにも、一人で考え込むのではなく、自分の考えを持ちながら気軽に相談できる学校体制を作り上げることの重要性を感じています。こうした学校内の協力体制だけでなく、近

年では、子ども相談センターや県立はなの木苑といった施設をはじめ、広く関係諸機関と連携し、子どもたちに関わるケースも増加しています。まさに、「チーム学校」として、多くの人たちの協力を得て、子どもたちに社会を生き抜く力を付けよとしています。

## チーム校長会として

昨年度、コミュニティースクールや特別な教科道徳について、教頭会や教務主任会においても研修の機会を設け、校長会でまとめを報告してもらいました。今年度も、校長会だけで研修するのではなく、「チーム校長会」として、他の組織や関係諸機関とも幅広く繋がり、研修機会等を設け、普遍的な教育課題、また喫緊の教育課題の研修や解決に努めたいと思っています。

## チーム土岐市として

子どもたちにとって、最大の教育環境は「人」と何度も耳にしてきました。目の前にいる児童・生徒が地域社会人として生活する10年後や20年後は、変化の激しい予測困難な社会と言われていいます。そんな予測困難な社会を力強く生き抜いていかなければならない子どもたちにとって、学校教育に携わる私たち400名が、「最大の教育環境」であることを自覚し、日々の指導や支援に力を合わせて取り組んでいきたいものです。

# 一人でも多く学校へ —浅野教室の役割—

土岐市教育相談適応指導教室 室長 後藤 東一

**「担任した児童生徒の中に学校や学級に不適応の症状を示し、登校を嫌がったり、欠席しがちなケースはありませんか。」**

教育相談適応指導教室（通称「浅野教室」）は、平成6年度に学校外の施設として学校内ではうまく対応できない児童生徒の支援をする適応指導教室として開設しました。

「不登校はどの子にも起こりうる」と言われるようになってから長い年月が経ち、様々な施策が講じられていますが、不登校の児童生徒は増加傾向にあるのが現実です。

こうした不登校の児童生徒が、周りからの適切な支援のもとで自分自身の力でクリアしていけば、その後の生き方によい影響を及ぼします。逆に不登校の児童生徒がひきこもりのままでいることはその児童生徒にとって不幸なことで復帰までに多くの時間を費やすこととなります。

浅野教室では、通所してくる児童生徒が安心して気兼ねなく学習とその他の活動を織り交ぜながら一日を過ごせる居場所づくりになるように努めています。そして、浅野教室での児童生徒の生活がもとになり、本人・保護者と学校の関係づくりが進み、学校復帰のチャンスに繋がることを願っています。

今では学校にスクールカウンセラーが配置されています。臨床心理士というプロが私たちの身近にいますが、浅野教室にもカウンセラーや臨床心理士が配置されています。対応の難しいと思われるケースについては、カウンセラーや臨床心理士に見立てをしてもらい、支援の方向を示してもらうことができます。

ぜひ、学校や学級に不適応を起こしている不登校になっている児童生徒や保護者に浅野教室への通所の相談を持ちかけてください。浅野教室に通所することによって、不登校の児童生徒が一人でも多く学校に通えるきっかけにしたいものです。

**「登校しない児童生徒の保護者からどう対応したらよいか相談されたことはありませんか。」**

浅野教室は教育相談もおこなっています。

浅野教室の相談員は、カウンセラーなどの資格はありませんが、平日午前9時から午後3時まで、学校とは異なる立場から保護者や先生方の悩みの相談に応じています。そして、登校できない児童生徒や保護者と学校とを結ぶパイプ役になれるように対応しています。

カウンセラーとの教育相談は、毎週木曜日に予約をしてから受けることができます。また、仕事の関係などで昼間に相談ができない保護者のために毎月第2火曜日の午後7時から9時まで「教育相談会」を開いています。この会は、予約は必要なく、参加された保護者の方がお互いに悩みや現在の子どもの状況を交流し合い、臨床心理士から指導や助言をいただいています。

浅野教室は、特に、学校の先生方を支援するために次のことに心がけています。

- 1 相談を受けたケースについては、学校への情報提供に心がけ、場合によっては意見を出し合って役割分担をすることもあります。
- 2 保護者の教育相談に応じたカウンセラーからは、教育相談の後に見立ての情報を受け、それをもとに不登校の児童生徒の支援に役立てています。

私たちは、学校に行けない児童生徒が一人でも多く楽しく学校に通えるようになるために学校や保護者の手助けをすることが役割です。また、国・県・東濃地区における各種会議などで得た情報は、生徒指導主事会などで提供しています。

こうした浅野教室の役割が周知され大いに活用されることを期待しています。

## 土岐市小中学校教育研究会 平成29年度 各部会 部会長・役員の皆さん

| 部会                              | 部会長          | 学校名    | 主務者    | 学校名     | 世話役   | 学校名    | 県代議員  | 学校名    |      |
|---------------------------------|--------------|--------|--------|---------|-------|--------|-------|--------|------|
| 小<br>学<br>校<br>教<br>科<br>等<br>研 | 国語           | 加藤 一哉  | 肥田小    | 木村 尚美   | 駄知小   | 塚本 真優  | 泉小    | 羽柴 由衣  | 泉小   |
|                                 | 社会           | 加藤 朝巳  | 妻木小    | 平林 尚子   | 下石小   | 大澤 拓也  | 土岐津小  | 高津 宏尚  | 妻木小  |
|                                 | 算数           | 永治 洋子  | 泉西小    | 加藤 恵    | 濃南小   | 小栗 由子  | 土岐津小  | 加藤 恵   | 濃南小  |
|                                 | 理科           | 杉浦 正佳  | 駄知小    | 水野 和正   | 土岐津小  | 水野 雅義  | 駄知小   | 水野 和正  | 土岐津小 |
|                                 | 生活           |        |        |         |       |        |       |        |      |
|                                 | 音楽           | 丸山 和彦  | 濃南小    | 松永 多恵   | 土岐津小  | 平野 智帆  | 妻木小   | 安藤 律子  | 土岐津小 |
|                                 | 図工           | 小栗 祥吾  | 泉中     | 日比野 有希子 | 土岐津小  | 坂田 まさみ | 下石小   | 河合 哲仁  | 肥田小  |
|                                 | 家庭           | 本多 直也  | 泉中     | 長谷川 里美  | 泉西小   | 毛利 知美  | 泉小    | 長谷川 里美 | 泉西小  |
|                                 | 体育           | 佐藤 勝也  | 下石小    | 坂田 芳朗   | 下石小   | 仙石 健太  | 泉小    | 上田 哲也  | 泉西小  |
|                                 | 外国語活<br>特別支援 | 市岡 敬   | 土岐津小   | 青木 典子   | 駄知小   | 松岡 篤徳  | 駄知小   |        |      |
|                                 | 熊崎 克朗        | 泉小     | 渡邊 早百合 | 土岐津小    | 原 亜希子 | 土岐津小   | 水野 浩庫 | 濃南小    |      |
| 中<br>学<br>校<br>教<br>科<br>等<br>研 | 国語           | 田辺 美樹  | 肥田中    | 板橋 晋司   | 駄知中   | 小関 弘翔  | 土岐津中  | 樋田 絵美子 | 西陵中  |
|                                 | 社会           | 梅村 利明  | 西陵中    | 北川 慎二   | 土岐津中  | 桑原 幹   | 西陵中   | 渡辺 英弘  | 泉中   |
|                                 | 数学           | 景山 国博  | 土岐津中   | 柳河瀬 直   | 泉中    | 澤田 直樹  | 西陵中   | 日置 貴大  | 肥田中  |
|                                 | 理科           | 磯貝 隆   | 駄知中    | 今井 竜彦   | 肥田中   | 宮島 利佳  | 泉中    | 今井 竜彦  | 肥田中  |
|                                 | 音楽           | 加藤 美香  | 濃南中    | 石原 靖子   | 肥田中   | 近藤 篤史  | 泉中    | 近藤 篤史  | 泉中   |
|                                 | 美術           | 小栗 祥吾  | 泉中     | 小池 智明   | 泉中    | 坂田 まさみ | 下石小   | 河合 哲仁  | 肥田小  |
|                                 | 保体           | 田中 慎一郎 | 土岐津中   | 松田 絵梨沙  | 泉中    | 笹岡 康孝  | 泉中    | 稲山 竜太  | 泉中   |
|                                 | 技家           | 本多 直也  | 泉中     | 林 祥太    | 泉中    | 水野 はづき | 泉中    | 吉村 康介  | 西陵中  |
|                                 | 英語           | 齋木 孝明  | 濃南中    | 松本 麻生   | 泉中    | 田中 沙紀  | 土岐津中  | 松本 麻生  | 泉中   |
|                                 | 特別支援         | 福田 辰雄  | 西陵中    | 村井 利光   | 西陵中   | 天池 幸喜  | 泉中    |        |      |
| 各<br>種<br>研                     | 養教           | 佐藤 勝也  | 下石小    | 今井 光子   | 濃南小   | 今井 光子  | 濃南小   | 楓 久代   | 下石小  |
|                                 | 事務           | 本多 直也  | 泉中     | 塚本 有美子  | 濃南小   | 久米 隆明  | 駄知中   | 塚本有美子  | 濃南小  |
|                                 | 栄養           | 市岡 敬   | 土岐津小   | 千村 友記   | 肥田中   | 鈴木 晃子  | 土岐津小  | 千村 友記  | 肥田中  |

1年間よろしくお願ひします!

# 「みる」

肥田中学校 校長 田辺 美樹

“先生”と呼ばれるようになって、はや30年が過ぎた。時代は大きく変わっている。わからない言葉を辞書でひくことが減り、コンピュータやスマホで調べることがいつの間にか増えた。

大学時代、教科書や辞書を持ち込んでもよい試験があった。その理由として、「これからの時代、暗記では通用しない。『これはあの本のあの場所を見ればわかる』と教科書や辞書を使いこなすことの方が大切なのだ。」と教授が説明された。また、「コンピュータの時代がやってきたら、教科書や辞書さえいらなくなるだろう。記憶ではコンピュータにはかなわない。」とも言われた。「その時に必要なのが大学の理科実験で培った『みる』力だ。まず、全体を大まかに見る。次に、焦点をあててじっくり観る。そして、その理由を考えて診る。

この姿勢は、君たちが教職に就いて子どもを指導する時にも必要な力ですよ。」と付け加えられた。

翌年、初任者として所報の原稿を依頼された。「毎日、共に活動しながら子どもたちを見たり観たり診たりしています。」と書いた。その後、経験を積む中で、診た後の看ることの大切さを感じた。

AIの時代が到来しようとしている。しかし、とって代わることのできない職業に「先生」が入っている。AIでは、画一的にしか「みる」ことができないからだ。

子どもの可能性は無限だ。私が出会うことのない時代を生きる子どもたち、そして先生方に何を伝えることができるだろう。そんなことを考えながら、今日も見たり観たり診たり看たりしている。

## 掲 示 板 本年度もよろしくおねがいします

【教育研究所】<前列左より>

主 任 河合 広映  
所 長 橋本 勇治 (学校教育課課長)  
指導主事 長瀬 久美子

<後列左より>

嘱託指導主事 安藤 篤  
指導主事 塚本 修 (学校教育課副主幹)  
事 務 伊藤 のり子



【ALT】

<左より>  
ヴィクトリア・  
シークマン  
スワン・ウィリアム



【浅野教室】

<左より>  
室長  
後藤 東一  
相談員  
岩崎 秀子